



童話の里

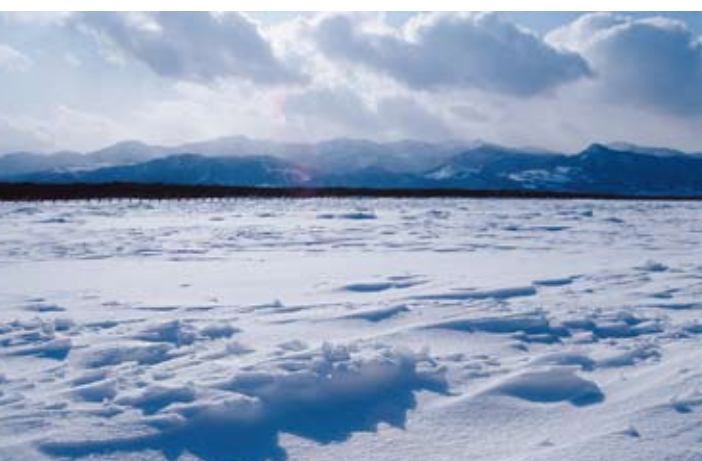
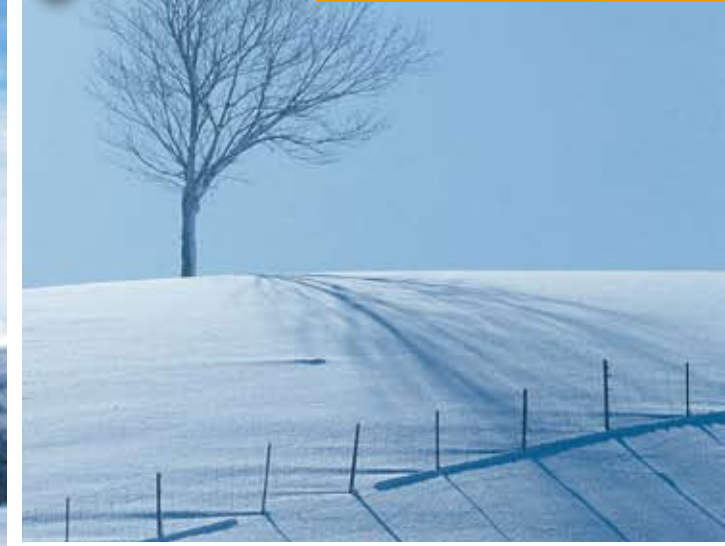
議会だより

第131号

2019

2.15

玖珠



思い出の修学旅行

12月10日～13日
美山高校2年生は、長野・
東京方面に行ってきました。

もくじ

12月議会で決まったこと	2 P
委員会報告	3 P
特別委員会	7 P
議員研修	8 P
一般質問	9 P
U・I・Jターン者の声	14 P

● 発行／大分県玖珠町議会 ● 編集／議会広報特別委員会 ● 印刷／くす印刷センター

12月議会で決まったこと

会期：12月3日～12月20日

(全)：全員賛成

(多)：賛成多数

議案 14件

案 件 名	結 果		頁
	全	可決	
玖珠町行政組織条例の制定について	全	可決	5
玖珠町監査委員条例の一部改正について	全	可決	5
玖珠町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	全	可決	—
玖珠町職員定数条例の一部改正について	全	可決	4
玖珠町職員の給与に関する条例の一部改正について	全	可決	—
玖珠町税特別措置条例の一部改正について	全	可決	4
玖珠町ふれあい福祉バスの設置及び管理運行に関する条例の一部改正について	全	可決	6
玖珠町企業立地促進条例の一部改正について	全	可決	6
玖珠町立幼稚園の設置に関する条例の一部改正について	全	可決	4
平成30年度玖珠町一般会計補正予算（第4号）	全	可決	3
平成30年度玖珠町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	全	可決	—
平成30年度玖珠町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	全	可決	—
平成30年度玖珠町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	全	可決	—
平成30年度玖珠町水道事業会計補正予算（第2号）	全	可決	—

陳 情 1 件

件 名	結 果		頁
	—	継続 審査	
陳情書「玖珠九重農協移動金融購買店舗車運営に関する助成願い」	—	継続 審査	—

こんなことを審議しました

予 算 常任委員会

平成30年度一般会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四億七千三百九十一万四千円を追加し、歳入歳出それぞれ、百十四億三千四百八十三万一千円とするものです。

○補正の主な内容は次の通りです。

- ・ふるさと応援寄附金増額の見込みに伴う歳入歳出の計上
- ・小学校及び幼稚園施設の空調整備費に係る工事請負費等の計上
- ・玖珠清掃センター長期包括的運営管理委託費など8件の債務負担行為の設定

○主要な事業は次の通りです。

- ・ふるさと応援基金費
- 三億五千五百九十六万八千円
- ・小学校及び幼稚園施設空調整備事業
- 一億三千九十六万八千円
- ・新中学校建設関連事業
- 一千二百二十九万八千円
- ・まちづくりを推進する各種事業等です。

○主な質疑は次のとおりです。

問) 橋梁の長寿命化について、町内に危険な

橋梁はあるのか。それと、国は何年計画でこれを完成させようとしているのか。

答) 橋梁についての現況ですが、現時点では点検結果を四つの段階に区分けをしています。一番危険な状態がレベル4となり、そのような橋梁については玖珠町内にありません。5年毎に点検を行いますので、その時点で橋梁の傷みが発覚すれば随時補修を行っており、何年度に終わるといったことにはなっていません。

問) 国は継続して事業を行っていくという考え方で良いのか。それに関連して玖珠町の場合、特に危険な橋梁はないというところか。

答) 5年毎に点検を行い、レベル3については順次整備を行います。中島橋についてはレベル3ですが、大規模な補修となるので架け替えを行います。

問) 小学校のエアコンの取りつけ時期について、いつまでに設置できるのか、明確に求める。

答) 現在、1月末を目途に実施設計を作成しています。それを受けまして補助金を申請し、交付決定を受け次第取りかかるということで考えています。事業実施にあたっては需要に対する機器の供給が心配ですので、早期にエアコンを確保したいと考えています。

○採決の結果

平成30年度玖珠町一般会計補正予算について審査の結果、本案は妥当なものであり、全会一致で可決すべきものと決しました。

こんなことを審議しました

総務文教民生 常任委員会

職員定数条例の一部改正

玖珠町組織機構の変更に伴い、提出するものです。

「改正内容」

改正前 議事事務局の職員 2人

改正後 議事事務局の職員 3人

「質疑応答」

問 今回、条例改正を行うのはなぜか。

答 監査事務局の新設に伴う体制の整理により、定数を現状の職員数に合わせた3名に変更するものです。

町立幼稚園の設置に 関する条例の一部改正

玖珠町立八幡幼稚園の用途を廃止し、地域住民等が活用しやすい施設にすることで、施設の有効利用を図るため、提出するものです。

「質疑応答」

問 特定財産から普通財産に変わった後、施設管理はどこが行うのか。

答 今までは教育委員会が管理していましたが、総務課の管財係となります。

問 今後の活用目的は決まっているのか。

答 現在、障がい児の長期休暇サポートとして夏休みの預かりや、大分大学の学生の宿泊所として活用していますが、特に教育委員会として新たな計画は考えていません。



税特別措置条例の一部改正

地域再生法等の一部改正に伴い、本店その他の地域における就業の創出又は、経営基盤の強化に資する施設に係る固定資産税の課税免除等を行うものです。

支援措置の内容

I オフィス減税

特定業務施設の新設又は増設に関する課税の特例

II 雇用促進税制

特定業務施設において従業員を雇用している場合の課税の特例

III 債務保証

中小企業基盤整備機構による債務保証

IV 地方税の課税免除等

固定資産税等の課税免除*又は不均一課税 (*移転型のみ)

支援措置

○拡充型事業

地方*の本社機能を拡充

(*東京圏、中部圏中心部、近畿圏中心部は対象外)



○移転型事業

東京23区から地方*に本社機能を移転

(*東京圏は対象外)



行政組織条例を全部改正

業務や住民ニーズの多様化に対応するため、玖珠町行政組織を変更するものです。

「質疑応答」

問 基地対策室を課として残せないのか。

答 今回の改正では大課制を目指しており、基地対策は特化業務として従来通り室のままとしています。今後協議をしていきます。

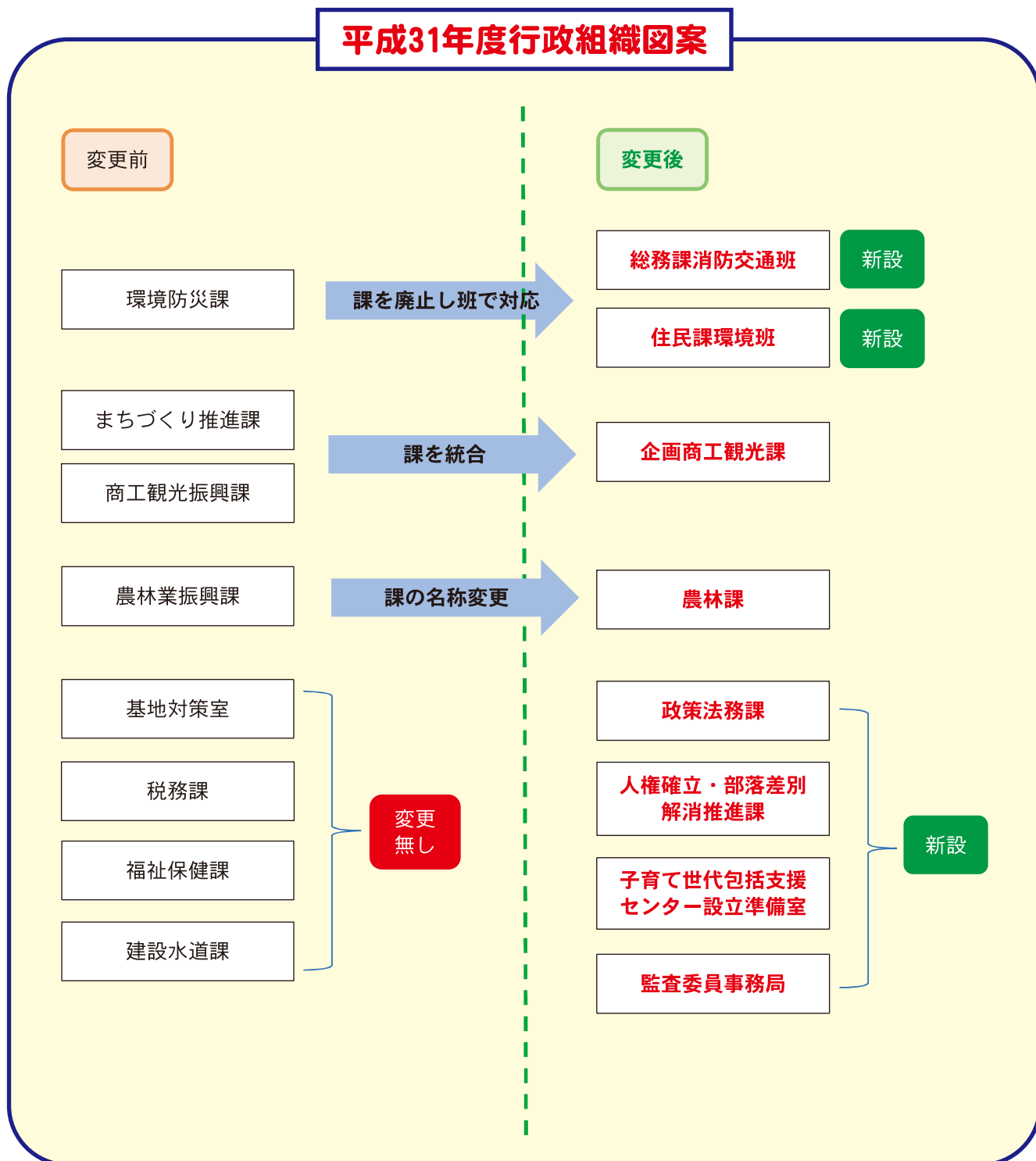
問 子育て世代包括支援センター設立準備室についてですが、センターの設立が当面の主目的となるのか。

答 福祉保健課内に準備室を新設し、専門職、保健師等も配置したうえで、平成32年に同センターの設立を目指すことも子育て支援課の設置についても準備室内で協議をしていく考えです。

監査委員条例の一部改正

今回の改正は、監査委員事務局の設置を明記し、監査体制を独立することにより、監査制度の充実強化に対応するものです。

平成31年度行政組織図案



こんなことを審議しました

産業建設まちづくり 常任委員会

玖珠町ふれあい福祉バスの設置及び管理運行に関する条例の一部改正

玖珠町地域公共交通総合連携計画に基づき、利用者の利便性の向上を図るため、路線及び運賃の改定と、障がいのある方の円滑な移動支援を行うため、条例の一部を改正するものです。

「質疑応答」

問 路線が減るのか。
答 路線の変更はありません。これまで、トキ八前から総合運動公園までの間は、試験運行という扱いでしたが、本運行にします。
問 障害者手帳等を交付されている方は半額になるのか。
答 運賃は、療育手帳、身体障害

問 答

者手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は半額、第一種障害者が利用する際の介護者一人について半額とするものです。

一律二百円には出来ないか。
運賃については、バス、タクシー等の公共交通の事業者と交通関係を所管する国、県、町で構成する玖珠町地域公共交通会議で協議して決めます。設定料金については、採算を度外視した運行は出来ないため、路線バスの運賃体系等を参考にして安価な設定にしています。



玖珠町企業立地促進条例の一部改正

企業立地を促進するにあたり、立地のニーズに対応するため、県内の市町村と同様に指定要件を緩和するとともに情報通信業に係る対象業種を明確化することで、新たな業種に対応できるよう条例の一部を改正するものです。

「質疑応答」

問 情報サービス業が追加されるが、IT関係やコールセンター等運営する企業にアピールはどのように行っているのか。
答 県と連携して関連する企業や県出身の方に話をしています。閉校の中学校を無料での貸し付けや、助成等は出来ないか。中学校の空き校舎の有効活用は大きな課題と捉えています。関係課と調整しながら、企業の候補地として取り組みたいと思います。

問 助成要件に、固定資産税と投資額の助成の適用がないが、どうしてなのか。
答 情報サービス業等の企業は、比較的設備の投資額が少ない

ため、今回は雇用助成のみの対応にしています。

陳情 「玖珠九重農協移動購買車運営に関する助成願い」
運行計画（地域の巡回コース）、営業場所、営業時間の資料不足のため資料の提出を求め継続審査とします。



「童話の里地産地消条例」、「カウベルランドの今後の経営方針」については、継続調査を行います。

報告

基地対策 特別委員会

○平成30年第3回玖珠町議会定例会において、基地対策特別委員会に閉会中の継続審査の付託を受けた件について、その結果を報告いたします。

○主な経過報告

- 8月29日 横浜市会視察対応
- 9月27日 前田玖珠駐屯地司令着任挨拶
- 10月22～23日 長崎県佐世保市相浦駐屯地
水陸機動団視察
- 11月19日 岡山県奈義町議会視察対応
- 11月26日 30年度第4回基地対策委員会



○付議事項

日米共同訓練について
期間 平成30年12月7日（金）
～12月19日（水）

場所 日出生台演習場、十文字
原演習場及び航空自衛隊
築城基地

実施部隊（人員）

陸自：約750名

米海兵隊：約250名

○主な意見・要望

・町民の安心安全が第一である。地元住民との話は出来ているのか。

・日出生台演習場の8割は玖珠町である。来年度交付予定の再編交付金については、使用面積に対する比率での交付を国に訴えるべきではないか。
・オスプレイの運用について如何ともし難いが、安全面の徹底をお願いしたい。

などの意見がありました。

基地対策特別委員会としては、

町長はじめ執行部へ以上の意見・要望を伝えました。

○今後の予定について

・日米共同訓練の安全を確認する為、日出生台演習場を視察

委員会としては、基地問題の対応について研究・協議し、町長はじめ執行部と共に問題解決に向けて努力することを確認し、本委員会は引き続き継続審査をすることに決しました。



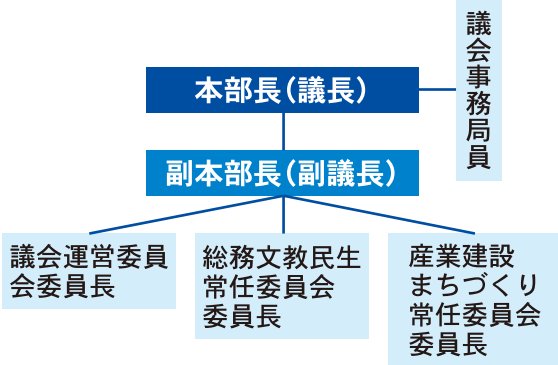
報告

議会改革

特別委員会

10月11日、11月16日に議会改革特別委員会を開催しました。

一、**玖珠町議会防災体制の見直しを行いました。構成は次の通りです**



(一) 本身体制

(二) 本部の役割

- ・ 本部長、副本部長、委員、委員長、事務局長、事務局員

(三) 議員防災行動マニュアル

- ・ 議会、委員会の機能
- ・ 地震、風水害等における初動対応等。
- ・ 議員の公務災害の扱い

二、**決算委員会の振り返り**

款毎に各課が説明し、審議する新たな進め方で事後評価をし、来年度も本年同様の進め方をすることとしました。

三、**政策立案の推進手順の協議**

玖珠町議会基本条例に謳った政策立案の手順を協議し、次年度以降実施のため「全員協議会の申し合わせ事項」とすることとしました。

四、**その他**

視察研修の発表会及び各種団体との意見交換会の実施について全員協議会で実施の依頼をすることとしました。

議員研修

11月5日、清水 慎一（総務省「地域力創造アドバイザー」）を講師に研修を行いました。

演題

これからの観光地域づくり
～町村の地域づくり、まちづくりについて～

- ・ 「住んでよし訪れてよし」の観光地域づくりに向けて！
- ・ 観光地域づくりを実践する小さな村
- ・ 徳島県三好市祖谷溪など
- ・ 観光地域づくりを持続的に実践するために！



11月16日、遠藤 健人（大分県企画振興部観光・地域局交通政策課長）を講師に研修を行いました。

演題

日田・玖珠地域の
交通体系を考える

- ・ バス事業について
- ・ 東九州新幹線について
- ・ 日田英彦山線の復旧について
- ・ JR九州のダイヤ改正関係について





一般質問

町政を問う

防災対策について!!



石井 龍文

問

近年、自然災害が全国至るところで発生しています。多くの被害者がいまだに苦難の生活を余儀なくされています。防災ガイドブックが全戸に配布されましたが、目的を伺う。

答（環境防災課長）

ガイドブックを通じて風水害や地震等に関する情報や知識を提供し、平素から災害に対して事前の備えや準備に役立て、家族や地域の方と防災について話をしたり、自主防災組織などの自助、公助につながる取り組みや活動に役立つよう、防災意識の高揚と啓発を促す目的で作成しました。

問

ガイドブックの活用をどの様に勧めているのか伺う。

答（環境防災課長）

「ガイドブック」「ハザードマップ」を学校での図上訓練や地区

懇談会のワークショップ時に活用されています。また、町のホームページでの掲載や町報で「シリーズ防災」のコーナーを設け掲載内容の紹介などを行っています。今後、地域から説明会の要請などにも対応しながら、また、地域での懇談会や防災に伴う会議など機会ある毎に啓発に努めます。

問

災害時の備蓄倉庫の鍵は誰が管理しているのか、緊急時に間に合うのか伺う。

答（環境防災課長）

鍵の管理は、環境防災課が保管し管理をしています。災害時に避難所の開設する際の鍵の施錠については、現在は3つの方法で運用しています。特に遠隔地の避難については、災害時に道路が寸断された場合など、現場までたどり着けないことが考えられるので、今後地域の方と協議の上で対策を講じていきたいと思っております。

その他の質問

- ・ 防災士の役割について
- ・ 自治区再編について
- ・ 緊急医療情報キット全戸配布について



廣澤 俊幸

日田特別支援学校の分室誘致について!!

問 分室誘致について、県教育委員会との話し合いはどのようになっているのか伺う。

答（教育総務課長）

第3次大分県特別支援教育推進計画公表後、県教育委員会に特別の働きかけは、現在のところ行っていません。

問 これまでの一般質問では、県のあらゆる方面に要望するとか地域の切実な実情を強く県に訴えて行くかと答弁しているのに働きかけをやっていないのはなぜか伺う。

答（教育長）

水面下では、随分と県の特別支援教育課や県知事にお願ひに行きました。今後も熱意をもって県当局に訴えていきたいと考えています。

問 3月に町民3千名の署名をもって浜田県議、河野議長と県議会議長並びに県教育長に要望書を提出しました。今後の対応を伺う。

答（教育総務課長）

国、県の特別支援教育に関する情報を収集しながら、熱意をもって、働きかけていきたいと考えています。

情報発信について（防災無線に代わる情報発信について）!!

問

防災無線による情報発信は、聞き逃しやうるさいなどの苦情があります。テレビ画面で行政情報を見るデータ放送を導入する意思はないか伺う。

答（総務課長）

映像による情報伝達は、重要かつ有効であると思っています。宿利町長より映像を利用して広報発信している県内自治体の調査をし、検討するよう指示を受け、現在その調査を実施しているところです。

その他の質問

- ・ 町内の人手不足について
- ・ 組織再編について



宿利 忠明

子育て支援課の設置について!!

問

子育てサロンに関する陳情書を採択したが、子育て支援課を設置する考えがあるのか伺う。

答（総務課長）

子育て世代包括支援センターの設立準備室を設け、この中で子育て世代の諸般の事業、プラス子育て支援課を含めて協議を進めたいと考えています。

問

子育て支援課については、各関係部署が多岐にわたっているが、子育て世代包括支援センターで一括できるのか伺う。

答（福祉保健課長）

子育て世代包括支援センターの主な業務内容の一つは、妊娠期から子育て期の18歳までの支援プログラムの作成ですが、その他各種団体の情報ネットワークの設置も検討します。

町立幼稚園の存続について!!

問

町立の幼稚園を残してほしいと言っ強い声があるが、町の考えを伺う。

答（教育総務課長）

就学前教育の重要性を考えて、玖珠町幼児教育振興プログラムを策定中です。当面、公立幼稚園が主体となって実施する必要があるため、募集人員のみで閉園することとは考えていません。

問

幼稚園再編計画に基づくのは、一旦終了し、森幼稚園を残して幼児教育をするのか伺う。

答（教育総務課長）

振興プログラムは10年をめどに作っており、公立幼稚園のあり方を当面は5年を考えているが、5年後に再度計画したい。

その他の質問

- ・ 玖珠町集落支援推進事業集落支援員について
- ・ 地域力日本一の町づくりについて



秦 時雄

教育行政について!!

問

今国会で成立した政府の平成30年度補正予算に、学校の緊急重点安全対策として、全国の小中学校普通教室にエアコン設置の予算が計上されたが、本町の方針を伺う。

答(教育総務課長)

全小学校及び幼稚園の普通教室図書室、保育室、遊戯室に平成31年度夏までに設置する予定です。本年度は、日出生小学校及び小野原分校を除く小学校6校及び、森幼稚園へのエアコン設置を実施するため、文部科学省に補助金事業の申請を行い、交付決定後、さらに事業を行いたい。日出生小学校及び小野原分校については、防衛省の防音事業として、新年度に補助金申請を行い、交付決定後に工事にとりかかりたい。工事は夏休み期間中になる見込みです。

通学時のランドセル、荷物の軽

減化について伺う。

答(教育総務課長)

10年前から教科書の大判化にもない、各学校でカバンの軽量化を図ってきた。今回の文部科学省からの通知を校長会に提示し、各学校でこれまでの取り組みの見直しを行い、どのような対応が出来るかを検討し、取り組みを進めています。

福祉行政について!!

問

風しん予防接種を受ける前に抗体検査を受ける必要があり、その費用助成について伺う。

答(福祉保健課長)

本町では、妊婦健診を受けた際に抗体検査費用について助成を行っている。それ以外の人は助成を行っていない。今後は国や県の対応を注視しながら助成を検討していきます。

その他の質問

- ・ 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保の推進について
- ・ 小中学校における「ガン教育」について



小幡 幸範

障がい者の就労支援について!!

問

公共職業安定所との連携や事業所等への働きかけ、関連業務における就労機会の拡大検討など、障がい者計画のとおり推進できているのか伺う。

答(福祉保健課長)

具体的な相談を受けていないので、推進できていない状況です。今後は障がいをお持ちの方の意見を伺いながら、できる範囲内で連携をとっていききたいと考えています。



次年度の町政運営について!!

問

町長就任から11カ月が経過したところですが、公約に対しての進捗はどの程度進んでいるのか伺う。

答(町長)

子育て世代包括支援センターの設置につきましては、今議会の組織改正案において一定の方向性を示すことが出来ました。また、とことん玖珠町くすデザイン会議を通して、町づくりに町民の皆さんが参加して頂く場面を持つことが出来ました。

しかしながら、一方で農林畜産物のブランド化による有利販売や商店街・商工会との連携、集落マネージャーの設置などにつきましては、これまで意見調整を行ってきましたが現段階で形あるものには至っていません、次年度以降実現に向けて努力をしていきたいと考えています。

その他の質問

- ・ 文化財や偉人の活用について



藤本 勝美

町内全小学校への エアコン設置について!!

問

温暖化もあり年々町内の夏の温度も上昇し、この3、4年猛暑が続いています。教室の環境もとても勉強どころではないのが現状です。町は当初、防衛予算でと言っていたが、総務省がエアコン設置について予算計上し、この件についての経過を伺う。

答（教育総務課長）

昨年までの答弁の中で防衛省の防音対策でエアコン設置が出来ないかと調査の上取り組んできました。その時点では基本的に日出生地区の2校のみで、文部科学省からこの秋に予算がつき、5つのグループに分けて発注の予定です。

問

発注については急がないと肝心な夏の時期に間に合わない。地元業者で出来る仕事である。発注に

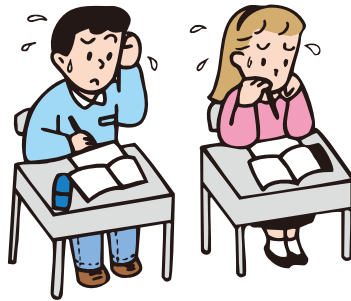
ついてどのように考えているか伺う。

答（町長）

「地元業者への発注をと基本にしています」また「夏の時期に間に合うように教育委員会へ指示を出したところです。」

その他の質問

・伐株山の開放について



繁田 弘司

堆肥舎の現状と今後について!!

問

進捗状況が捉えられないが、酪農和牛農家への具体的な支援策を伺う。

答（町長）

陳情書を含めこの間、私を含め担当課と畜産農家、耕種農家で話し合いや有効堆肥について鋭意検討しています。堆肥センターの健全経営に向けて研究・支援を行っていきます。

農業生産について!!

問

町内の農業生産は米、椎茸、野菜等で三十五億円を上回っている。椎茸等は県下で質量とも一番の実績があります。各分野の団体と意見交換し、実情に合った助成やお手伝いをし、どのように向上を目指すのか伺う。

答（農林業振興課長）

今後、お手伝いをさせて頂く気持ちで、生産者の経営安定・所得向上につながるよう関係機関と連携取り組めます。

人口減少について!!

問

町として、人口減少に対する具体的なプランはあるのか。

町独自の統計を元にデータ分析をすれば各地区が抱えている問題が見えてくる。平成27年度に作成した、玖珠町人口ビジョンを参考に地域が抱えている問題を把握し、より具体的な政策を考えるべきではないか。共存共栄を目指している自衛隊との意見交換も大切ではないか伺う。

答（総合戦略課長）

人口減少を見据えたうえで、次期玖珠町版総合戦略及び玖珠町第6次総合計画で具体的な施策を示していきたいと思えます。



松下 善法

玖珠町の都市計画道路について!!

問

2年前に都市計画について質問をしたが、森の双葉町から十字路の間は通学路であり、歩道の整備が出来ておらず危険である。都市計画の変更・見直しについて伺う。

答 (まちづくり推進課総合戦略室長)

今のところ、地域住民との協議や話し合いが出来ていません。次年度より玖珠都市計画マスタープランの見直しを行い、総合計画と合わせて検証したいと考えています。

消防団について!!

問

消防団員の高齢化が進んでいるが、団員確保の対策についての考えを伺う。

答 (環境防災課長)

全国的に団員数が減少しており、平均年齢も県平均に比べ高くなっています。広報紙などを活用して団員確保を行い、また、団員の活

動環境の向上を図るために、玖珠町の企業にも協力して頂く「玖珠町消防団協力事業所制度」の推進を図り団員確保に努めます。

問

現在の消防団の装備は古く非常に時に対応できない、特に新しい携帯用無線機を配備出来ないのか伺う。

答 (環境防災課長)

無線機については整備後、約25年が経過しており、電波法の改正に伴い4年後に使用出来なくなるのでシステムをデジタル化し、新しい無線機の更新を行いたいと考えています。

問

消防団装備について強化して頂く考えはあるか伺う。

答 (環境防災課長)

玖珠町消防団装備等検討委員会を設置しています。検討委員会の結果を踏まえながら、3か年計画で優先順位をつけて強化を図って行きます。

その他の質問

元号が変わるが、対策は万全なのか。財政負担が生じるが試算しているのか伺う



大野 元秀

ゴミの収集計画について!!

問

ゴミ収集回数のアンケートや意識調査が行われたのか伺う。

答 (環境防災課長)

ゴミ収集の実態把握としまして、町内巡回によるゴミの排出状況、収集運搬状況を確認している状況です。今後も現状把握に努めアンケート調査なども実施し、今後の財政状況を踏まえながら調査、検討したいと考えています。

玖珠美山高校の支援について!!

問

今後の支援について、どのように考えているのか伺う。

答 (総務課長)

来年の入学増に向け高校と町、教育委員会が一緒になって三年生の生徒、ご家族、担当の教員の方々への美山高校の魅力を情報発

信してほしいという要望を頂いているところです。

問

「玖珠志学塾」について三十一年度までは継続すると思いますが、その後の継続についての考え方があるのか伺う。

答 (推進室長)

債務負担行為として、三十一年度までの事業承認を頂いています。それ以降事業を継続するかどうかについての方針は現時点では決定していません。

志学塾の事業効果を検証するには三ヶ年では不十分と考えられるので事業の延長が必要ではないかと考えています。

問

財政状況を考慮しながら運営費をどう捻出するのか伺う。

答 (推進室長)

人材育成の事業でもあるので、ふるさと応援寄附金の充たや、その他の財源を検討しているところです。

その他の質問

地域の現状と課題について

原木しいたけ生産者

玖珠町大字山浦
江藤 廉平・聖美



【玖珠町に住んで思うこと】

高校を卒業するまでは山浦地区で暮らしました。中学卒業するまでは同級生5人の小規模クラスだったので、高校で初めて40人クラスになった時に戸惑いがあったのを覚えています。通学や買い物など、時間も手間もかかる生活に当時は早く玖珠町を出たいと思っていました。大学時代は島根県松江市で過ごし、卒業後茨城県つくば市の農業生産法人に就職し、合計約10年間玖珠町を離れました。結婚のタイミングで帰郷して5年が経ち、仕事と子育てと時間に追われる慌ただしい生活を送っています。かつて抱いていた田舎育ちのコンプレックスが逆に今、田舎で暮らすエネルギーになっていく気がします。

【玖珠町に望むこと】

少子高齢化が進む中、地区の青年会や消防団の活動を通して、ひと一人の力はとても大きいと日々感じています。一人でできることには限界がありますが、それでも5人や10人の組織では一人欠けるととても大変です。自治会などの活動も今は、父の世代（団塊の世代）や中堅の方々がいるおかげで維持できていますが、10年後、20年後はどうなるかわかりません。

将来に渡って持続可能なビジョンを描いてくれると、今玖珠町で生活している若い人も希望が持てるし、新しく玖珠町に移住してくる人にも魅力的に映るのではないのでしょうか。

【今後の目標】

私たちが栽培している原木しいたけは大分県では有名な作物ですが、全国的にみると生産者も高齢化し生産量も年々減少しています。20年後には

マツタケ並みに貴重なものになるかもしれない。生産者の確保や価格の安定化は喫緊の課題だと思っています。

以前、勤めていた農業生産法人とのつながりで3年前から茨城県の生協と取引をしており、購入していただいたお客様から毎回ご好評をいただいております。原木しいたけを食べたことがない方はまだまだたくさんいます。これからも、栄養豊富でおいしい原木しいたけの魅力を一人でも多くの方に伝えていきたいと思っています。



12月議会の傍聴者数は、41人です。議会の傍聴におこしく下さい。次回の定例会は3月です。

「議会広報特別委員会」

- 委員長 宿利 忠明
- 編集長 松本真由美
- 委員 中尾 拓
- 委員 大野 元秀
- 委員 小幡 幸範
- 委員 松下 善法
- 委員 廣澤 俊幸

編集後記

次回5月発行の議会だより（3月議会）は4月に行われる町議会議員選挙の関係で休刊させていただきます。